

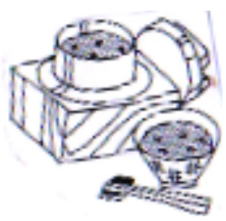
# こぼれ話

昭和30年代に小学生だった頃の話で盛り上がった団塊の世代がその夜も酒を飲んだ。2ヶ月に一回程度集まり孫のことや自分たち夫婦の「終活」に関することなどをくつちやべっている。それが明日に向かうエネルギーになっている。Aが小学2年生の頃の担任の授業のことを話し始めた。A「佐々木先生の授業はおもっせがったがな。我々がまだ

## わが家の一品

### 【ワカメと納豆と卵】

「材料」塩蔵ワカメ、納豆、生卵、つゆ。  
 「つくり方」どこのご家庭の冷蔵庫に塩蔵ワカメがあるといます。それと卵と納豆をミックスして炊き立てのごはんにかけて食べることをお勧めします。問題は塩蔵ワカメをどう調理するかです。それを紹介します。  
 (板屋/Y・K)



## 最終処分場

使用済み核燃料最終処分場候補地／狙われる海岸地域  
 学習・宣伝・対話で反対世論形成へ



六ヶ所村最終処分場

政府は5月22日の閣議で、高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針を改定しましたが、その最終処分候補地はいっこうに不透明です。そうした中、岩手県北上山地・海岸地域が候補地として狙われる条件を備えているとの指摘があります。それを許さない広範な世論を形成する立

場の問題について、高レベルの放射性廃棄物に近づく20秒で即死の再処理工場には全国の原発から排出された放射性廃棄物が持ち込まれます。その処理(貯蔵保管)能力は飽和状態で、かつこれから全国原発が再稼働すればさらに多量

量の廃棄物が持ち込まれることになり。この放射性廃棄物に近づく20秒で即死するという異次元の高レベル廃棄物で「死の灰」と呼ばれるものです。その放射性廃棄物を再利用するのが六ヶ所村の施設ですが、再利用した後に残る放射性溶液はガラスと混ぜて(ガラス固化体にする)個体にした上で地中300mの強固な岩盤に埋蔵する、というのが国の方針です。最も安定した地層の一つ

## 読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣(田鎖)  
 ●一強の風気まことに本音出し言いたい放題遊び放題  
 ●きのつよりや、伸びると自賛して水仙の芽今日もまた見ると  
 自注/今日もまた良い天気だと思つたら、だんだん曇つてしまつて残念です。

## 市民の希望と想いを乗せフェリー就航がスタート



22日1000人、23日800人が送迎  
 初日のシルバークイーン号には市長、議長など関係者も乗り込み室蘭へ。翌日の朝6時には室蘭の青山市長とともに宮古市長からもUターンして帰港。山口太鼓で迎えました。この賑わいが続けばいいね/利用者が足を留める受け入れ態勢をこの2日間の歓送迎に参画した市民からは、問題はこれから。この賑わいが続く方策を考えないと。・北海道から来た方が「この敷地内にはターミナルビル以外本当に何もありません。県も市も考えないと、多くの市民と宮古一中吹奏楽部の演奏で初出港を祝いました。



雨よ降れ、もつと降れ! 「久すぶりから揚げにすたがえ。おれは焼酎すか飲まねえがら」と。水不足の割にはまずまずか。

水不足で悲鳴が上がっている。この数日の雨もどこにも役に立たない水量である。少しまとまった雨が降り川底を洗い流してほしい。そうすればチョロ虫もまたバンバンと育つのだが・・・。 罫ヶ崎の釣り吉は24日、岩泉の猿ヶ石川に入溪。乙茂の道の駅を過ぎてから入る。やはり水量はいまいちだ。脈釣り、軟調竿の5尺、エサはブドウ虫で針はヤマメ(アマゴ)6・5号。所々に深い瀬が連続するポイントにエサを流す。すぐに喰いついてきた。17、18秒の普通サイズが11尾という釣果だ。水量不足の割にはまずまずか。

